

ごあいさつ

学校長 筒井 勝

この度は、男鹿工業高等学校ホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

本校は、昭和56年に地域産業の発展に寄与する技術者の育成を担う工業高校として誕生し、これまで6千百人を超える先輩方が、この学び舎で工業に関する知識と技能を学んでこられました。在学中に身に付けた力を十分に発揮され、県内はもとより国内外の産業界の第一線で活躍されています。

現在、機械科、電気電子科、設備システム科の3つの小学科から構成されており、各学科1クラスずつの計9クラスです。令和6年度は、75名の新入生を迎え、全校生徒が232名となりました。なお、設備工業系の学科である設備システム科は、全国でも開設数が少ない特色ある学科です。

校訓は「創意実践」です。これは従来の考え方や方法を簡単に受け入れるのではなく、常に考察し、新しい手法や独創的な考えを見つけ出し、それを自分のものとして実践してみるということです。この校訓のもと「ものづくりは、ひとづくり」と言われるように、ものづくり教育を通じて、主体的に取り組む態度や創造性、集中力や忍耐力、協調・協働の精神等を身に付けた技術者を育成することを目指しています。

そして、恵まれた教育環境の中で、工業に関する知識や技能を伸ばし、進路実現を図るだけでなく、部活動を通して精神力を鍛え、個性的で高い能力を持った仲間との出会いを通じて、生徒同士が切磋琢磨することのできる学校であります。

進路指導においては、「進路達成100%」を目指して様々な取組を行っており、本人の希望や適性に応じて、地元企業・全国の一流企業・公務員、大学・短大・各種専門学校まで、多種多様な進路と夢の実現が可能です。

部活動では、全国大会に出場しているラグビー部・空手道部を筆頭に、運動系8つと文化系・工業系7つの部活動で、日々明るく元気に活動しています。

昨年度においては、空手道部のインターハイ出場、難関の国家資格である「第3種電気主任技術者」試験に合格する生徒、秋田県立大学主催の3Dデザイン&プリントコンテストで最優秀賞を獲得する生徒が出るなど顕著な成果として現れております。

生徒たちは、とても素直で礼儀正しく、そして自らの夢の実現に向けて、学習や部活動に一生懸命取り組んでいます。このホームページを通して、本校の教育活動をご紹介したいと思っておりますので、定期的にご覧いただければ幸いです。

これからも様々な教育活動を通じて、地域・保護者・同窓生の皆様のご協力を得ながら、地域社会や産業界に貢献できる人材の育成を目指してまいります。

関係各位の力強いご支援をよろしくお願いいたします。

令和6年4月18日